

東 日夕新聞

九百十二號

一蕙齋  
方

武州秩父郡某々  
久保村の農何某の沙魚と取らんと  
網を携へ七歳に成りし兒と連  
て溪川に臨み小兒と川岸に遊ばせ置  
已に網を打ち入せて彼方此方と漁と  
つて歩行し小兒は忽ち声を  
揚げてアレスと様や蛇が坊を食  
ふよと叫ぶ之駭け附け見ると小桶  
程の蟒の後の山より蛇の  
既よ吾子と九舌と△

せんとの勢ひあるを側目有  
合ふ杉の丸木と取りて力を極めて  
打ての蟒は忽ち草木を推し分け  
後の山へ逃げ隠れ此の小兒は何の  
替り事もなく其父も頗る事  
おの絶えざるよしと此の  
細打の膽の太き男あり

具足屋  
ホリ栄

